子どもの笑顔、未来のために、
きのと小 燦 だより
子どもの方を向き、みんなで力を合わせて育てましょう

令和元年６月２６日
学校だより　第３号
胎内市立きのと小学校
http:// tainai-ed.nxc.jp/kinoto-es

自分もみんなも大切にする

校長　松原　利弘

６月に入り、雨の日が多くなりました。晴れ間を縫って、水泳指導を始めました。久しぶりの水の感触に歓声をあげる子どもたちです。ご家庭でも、この水泳の授業の様子が話題になっているのではないしょうか。

さて、**きのと小学校の目指す子ども像は「自分もみんなも大切にする子ども」です。**人権教育、同和教育を進めるきのと小学校にとって、変わらぬ指導像です。私は、この言葉の「も」が大切だと感じています。自分も、相手も、そして、みんなが人として尊重され、安心して学校生活が送れる、このことを目指して、この指導像が示されていると考えています。

この言葉は、飾り物であってはいけないと思っています。この言葉を覚えることが大事なのではありません。学校にかかわるすべての人が、この言葉を手がかりにして、日々の営みに見られるよさなどを確かめるとともに、実生活の中で生きる言葉にしたいと考えています。

そのために**「自分もみんなも大切にする」**を自分の行動を振り返り、その是非を問い返すことに使っていきます。例えば、「今の○○（行為）は、みんなを大切にしていたね」や「今の言葉は、自分を大切にする言葉だったかな」のようにです。日常的に「自分もみんなも大切にする」ことを振り返る規準にするとで、そのことが身体に染みていきます。習慣になれば、態度となって現れます。態度となれば、「自分もみんなも大切にする」心も育っていきます。

学校では、今「ハートカード」の取組を進めています。「ハートカード」とは、なかよし班のメンバーに向けて、感謝の思いなどを記したものです。「なかよし班遠足」の後に次のような「ハートカード」ありました。「**遠足のときにやさしくこえをかけてくれてありがとう**」３年生から４年生へ言葉です。これらを職員室前廊下に掲示しています。また、給食の際に全校の子どもたちに紹介しています。紹介された子どもは、恥ずかしそうに、嬉しそうに聞いています。これらも「自分もみんなも大切にする」一つの姿です。日常の教室の中でも友達のよさを認める言葉が発せられるよう、聞けるよう指導していきます。教師からも、子どもを褒める言葉をたくさん伝えていきます。

「自分もみんなも大切にする」行為の中には、相手との違いを理解し、それを受入れ、そして、共に生きるという思いがベースになくてはならない、そのように考えています。